

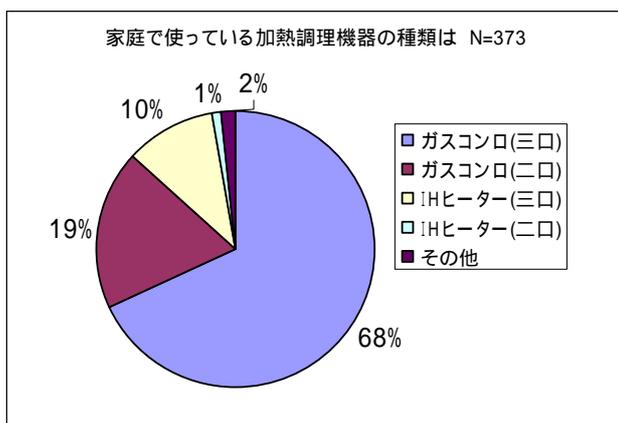
## 調理機器に関する調査

**最もガスオーブンを活用しているのは50代、「毎日調理に活用」  
20代の1割強が「ガス炊飯ジャー」派**

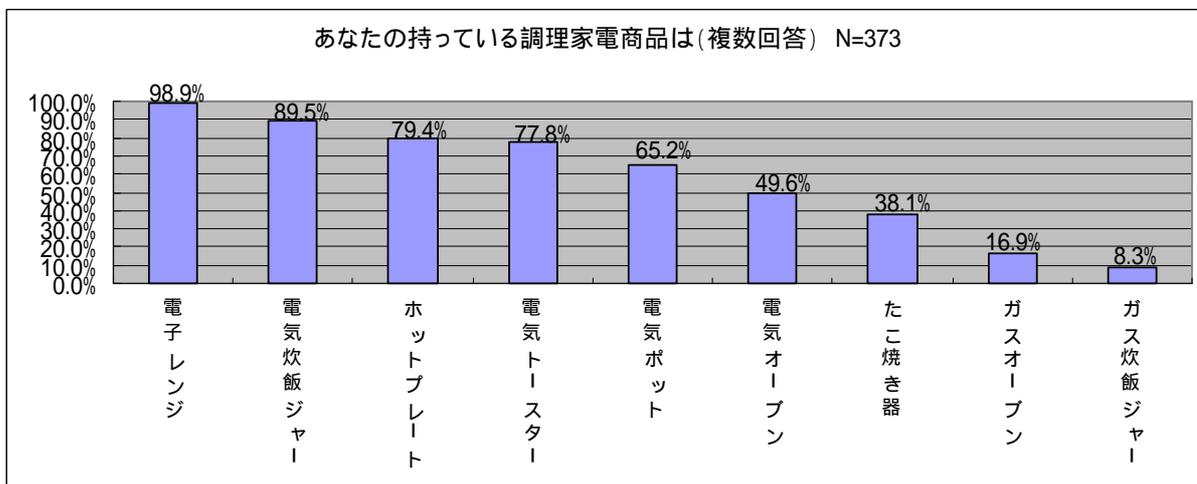
湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、取締役社長:神崎 茂治、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、家庭の調理機器に関する調査を実施しました。インターネット上で、20代から60代までの女性を対象に調査し、有効回答数373件を得ました(巻末に調査概要を記載)。

**家庭用加熱調理機器**

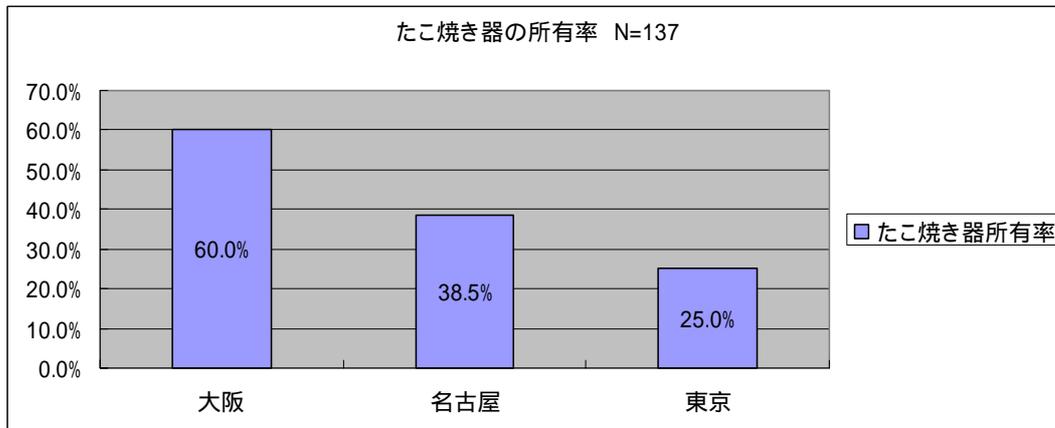
家庭用加熱調理機器の所有率は、ガスコンロが圧倒的に多く、二口・三口合わせて87%でした。IHクッキングヒーター(電気)は11%の保有率でした。


**「コンロ」以外の調理機器**

コンロ以外の調理機器の所有率は、電子レンジが98.9%と、ほぼ全戸でした。その他、電気炊飯ジャー、ホットプレートの所有率が高くなります。ガスを使った機器はガスオーブンを16.9%、ガス炊飯ジャーが8.3%となります。

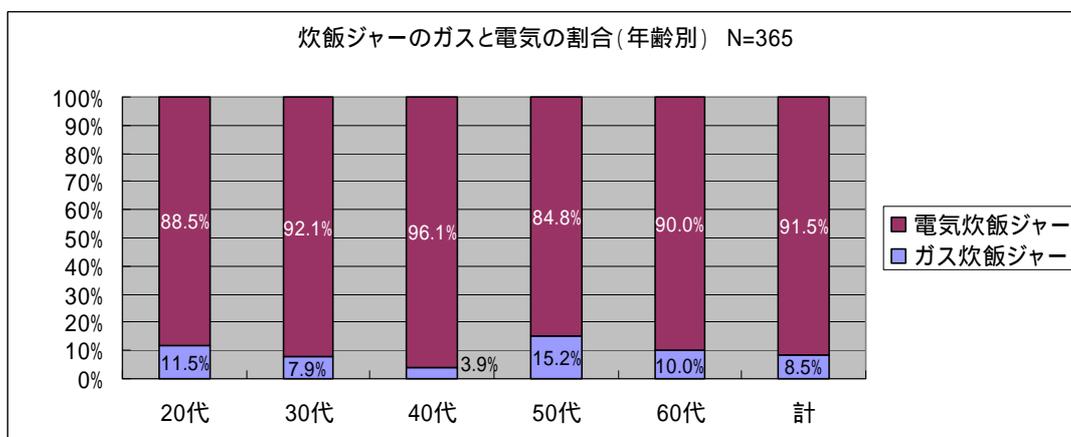
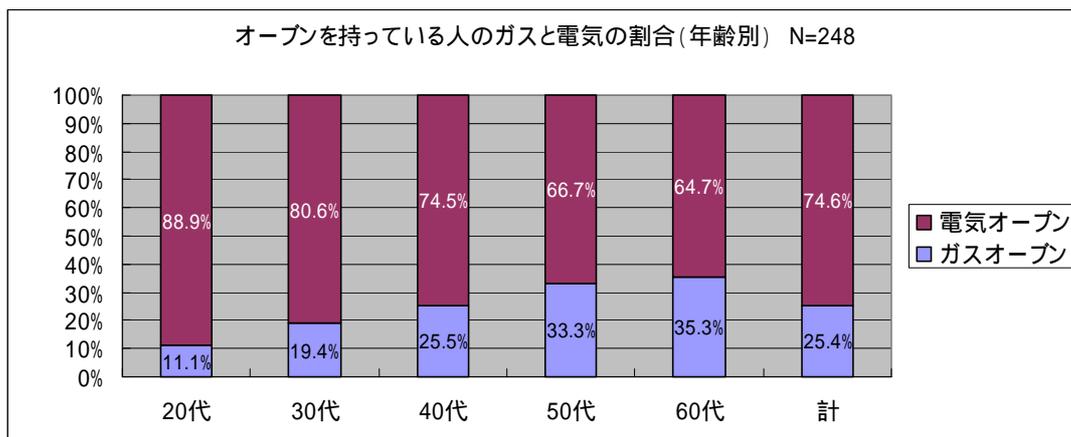


なお、たこ焼き器の所有率をエリア別に見たところ、大阪が60%、名古屋、東京と東に移るにつれて所有率が低くなりますが、東京でも4件に1件の家庭で所有しています。



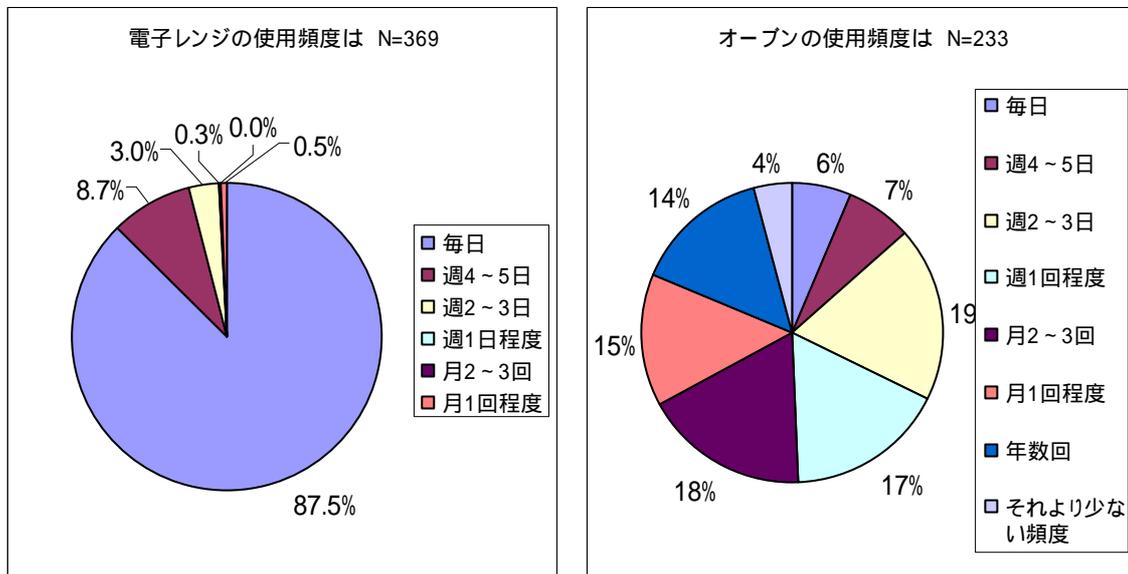
### オープンと炊飯ジャーの所有率

オープンと炊飯ジャー、それぞれ持っている人のガスと電気の割合を調べました。オープンに関しては、年代が上がるにつれてガスの所有率が高くなります。炊飯ジャーは全世代的に電気が多いのですが、50代の次に20代の所有率が高くなっているのが特徴的です。

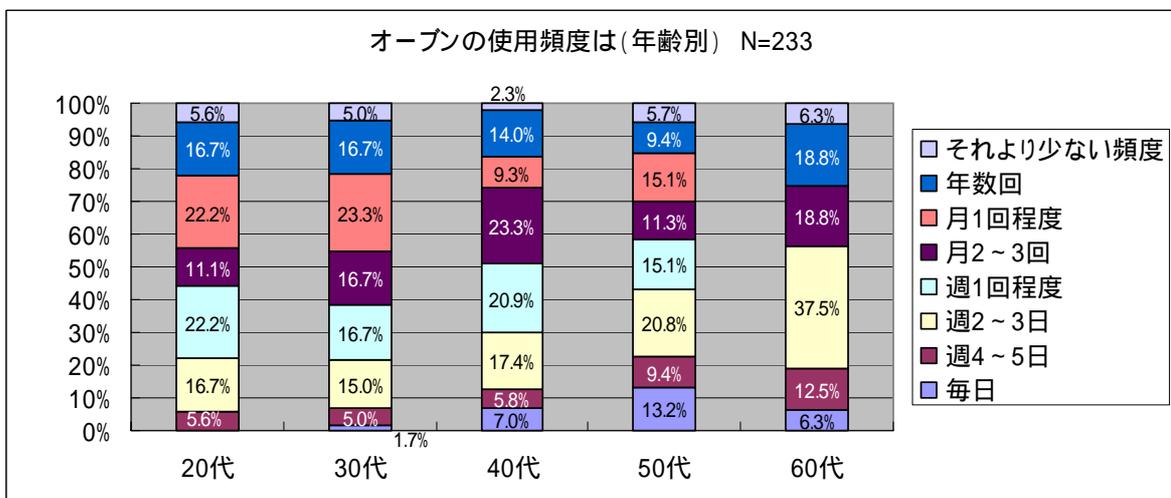


## 電子レンジとガスオープンの使用頻度

最後に、電子レンジとガスオープンの使用頻度を調べたところ、電子レンジは「毎日使う」という人が87.5%でした。ガスオープンの頻度は、週2～3回から月1回まで幅がありました。



ガスオープンの使用頻度を年代別にみると、50代以降の頻度が高く、50代の13.2%が毎日ガスオープンで調理をしています。



## アンケート調査概要

【方法】 Webアンケート

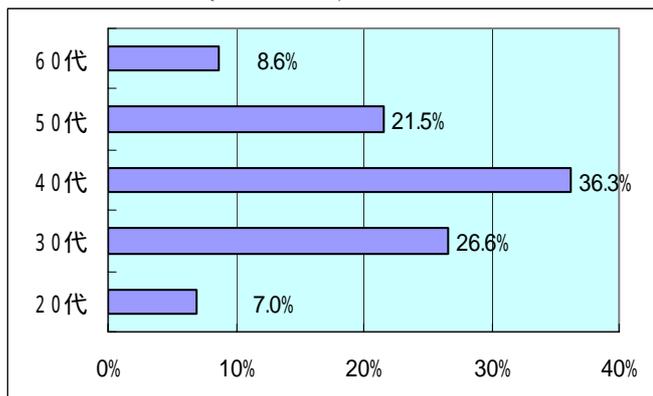
【期間】 2006年3月30日～4月4日

【対象】 ノーリツサイト つかりコムねん「MYコムねん」会員の、全国の40代以上の女性

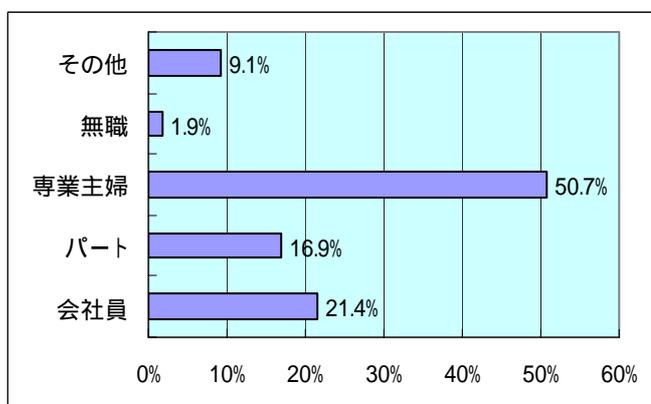
【サンプル数】 373 サンプル

機器の所有率は、ノーリツユーザーをベースにしているため市場の実情とは異なる場合があります。

年代 n=372 (20歳以下1名)



職業 n=373



お問い合わせ先  
株ノーリツ広報・IR室  
担当: 松田、寺島  
電話: 078 - 334 - 2801